

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ①専門性を追究した教育活動を充実させる。 ②商業と工業の連携による特色ある教育活動を実践する。 ③学力及び技術技能の基礎力を確実に定着させる。 ④学習指導方法の改善を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①③基礎学力の定着を図り、共通教科及び専門教科の発展的学習によって、上級の資格取得を目指す。 ②商と工の枠を超えた連携に向け、互いの系の特色を活かした課題研究の在り方を模索していく。 ④「主体的・対話的で深い学び」の実践を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①③スタディサブリの到達度テストを利用し、学習意欲の向上と中学校までの基礎学力の底上げを図り、各教科での発展的学習につなげる。 ②④「主体的・対話的で深い学び」を推進するために ICT 機器を活用した授業改善やDX人材育成のための一層の教科横断的な取組に向けて環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①③到達度テスト I 春(中学校までの範囲)の得点は向上したか。 ②次年度の課題研究の班編成において、系を超えたミックスの班編成が実施できるよう環境整備が整っているか。 ③基礎的な検定試験や資格試験の合格者は増加したか。 ④生徒が一人一台端末を活用し、毎日学習活動に取り組んでいるか。 						
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的生活習慣の確立を図る。 ②主体性・協働性を育み自立した人間の育成を図る。 ③社会人基礎力と豊かな人間性を育む。 ④教育相談体制の充実を図る。 ⑤学校行事や特別活動及び部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③基本的生活習慣の定着と、主体性・協働性を育む。 ④多様な生徒に対応するため、SC及びSSWを活用し外部機関との連携を図り、校内組織を充実させる。 ⑤部活動加入率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③生徒会、保護者及び各種機関と連携した指導を行い、主体性・協働性の涵養につなげる。 ④生徒情報の共有を徹底するとともに、SC、SSW や外部機関等と連携し、ケース会議等の教育相談体制を整備して生徒への支援を充実させる。 ⑤入学当初の部活動紹介等の企画や部活動支援体制の整備等を行い、加入率の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③組織的・継続的な指導により、次の事項が達成できたか。 ○挨拶をする生徒が増えたか。遅刻防止指導を年5回実施し、遅刻の回数が減少したか。 ○服装・頭髪指導対象者が減少したか。 ○各種講演をもとに他者に向けての行動ができたか。 ④本校の教育相談体制を生徒及び保護者等に周知し、教育相談の活用をすすめるとともに、必要に応じてケース会議等を開催するなどして支援体制を整備できたか。 ⑤部活動加入率が50%を超えたか。 						
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①実際の・体験的学習の機会拡大と充実を図る。 ②一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるとともに、自己の個性を理解し、主体的に自己の進路を選択する能力や態度を育てる。 ③進路指導体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①インターンシップや「仕事のまなび場」等を、実際の・体験的な学習をする機会として、積極的に参加することを奨励する。 ②各学年の状況に応じた進路ガイダンスを実施し、生徒が主体的に自己の進路を選択する能力や態度を育てる。 ②進路未決定者をゼロにする。 ③進学・就職にかかる事故防止を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①インターンシップや「仕事のまなび場」へ参加し、実際の・体験的な学習をすることで、職業観の形成につなげる。 ②進路ガイダンスの内容を精査して、多くの進路情報を生徒に提供するとともに、外部講師を積極的に活用したキャリア教育を実践する。 ③複数チェック体制を厳守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①前年度と比較して、インターンシップや「仕事のまなび場」への参加者が増えたか。 ②進路決定に有益な情報を提供すること等により、進路未定者をゼロにすることができたか。 ③進路にかかる事故をゼロにすることができたか。 						

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①学校運営協議会制度を活用した、地域との協働を図る。</p> <p>②広報活動を充実させ情報の発信を推進する。</p>	<p>①連携協定等を活用し、外部講師による実践的教育を充実させるとともに、地域やOB等を活用した教育活動を実践する。</p> <p>②ホームページによるタイムリーな情報発信を行う。</p> <p>③中学生及びその保護者に向け、本校の魅力及び特色をさまざまな機会を活用して発信する。</p>	<p>①生徒の学びに連携協定を活用するとともに、地域やOB、連携企業と協働する。</p> <p>②ホームページの更新をこまめに行うだけでなく、メールマガジンも配信するなど広報活動を充実させる。</p> <p>③近隣中学校の生徒及び保護者に加え、中学校教職員へのPR活動を充実させる。</p>	<p>①生徒の学びに連携校、地域やOBが関わり、生徒の成長を促すことができたか。</p> <p>②入学志願者が、募集定員を超えることができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①スクール・ポリシーに則った学校経営の推進を追究する。</p> <p>②安全安心な学習環境を維持構築する。</p> <p>③教育公務員としての規範意識を醸成するとともに、風通しの良い職場環境を構築する。</p> <p>④働き方改革の視点に立ち長時間労働の解消に取り組む。</p>	<p>①商業教育と工業教育の連携強化により、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成を目指す。</p> <p>②生徒主体の視点に立った教育活動を実践する。</p> <p>③不祥事防止を徹底する。</p> <p>④職場環境や業務内容を見直し、働き方改革に取り組む。</p>	<p>①両科の協働的な学習活動を通して、相互理解を深めるとともに、職業人の育成につなげる。</p> <p>②地域の協力も得ながら、生徒が安心安全に学校生活を送ることができる環境をさらに整備する。</p> <p>③不祥事防止会議や研修会のみではなく、日頃から不祥事防止に向けた情報共有を行う。</p> <p>④Teamsの活用と見える化をさらにすすめ、会議時間の削減やペーパーレス化を目指すとともに、業務の効率化につなげる。</p>	<p>①生徒が商業と工業のそれぞれの教育に対する理解を深め、職業人として成長できたか。</p> <p>②安全安心な学習環境の維持構築が実現できたか。</p> <p>③事故・不祥事件数が0件であったか。</p> <p>④Teamsの活用等により会議時間が削減できたか。また、データの保存場所を整理することができたか。</p>					